

1.8.9

イデアルの共通部分のイデアルなり。 $\sqrt{I_1 \cap I_2} = \sqrt{I_1} \cap \sqrt{I_2}$ になり。

証明は、題意を端に示す。

$x \in \sqrt{I_1 \cap I_2}$ ならば $\exists n \in \mathbb{N}, x^n \in I_1 \cap I_2$

より $x^n \in I_1, I_2$ となる。 $x \in \sqrt{I_1}, \sqrt{I_2}$

ゆえに $x \in \sqrt{I_1} \cap \sqrt{I_2}$

$x \in \sqrt{I_1} \cap \sqrt{I_2}$ ならば $\exists n, n' \in \mathbb{N}, x^n \in I_1, x^{n'} \in I_2$

$x^{nn'}$ になり。 I_1, I_2 はイデアルなり。

$x^{nn'} = (x^n) x^{n'}$ であり $x^{nn'} \in I_2, x^{nn'} = (x^{n'}) x^n$ であり $x^{nn'} \in I_1$

より $nn' \in \mathbb{N}$ となる。

ゆえに

(1)より

$x \in \sqrt{I_1 \cap I_2}$
 $\sqrt{I_1 \cap I_2} = \sqrt{I_1} \cap \sqrt{I_2}$ は示された。

証明終了。